



アイティシー
ジャパン
株式会社



システム
インテグレーター

41

ユーザー



情報・通信



クラウド版

導入時期 2014年 従業員数 41名 設立 1981年10月 所在地 東京都品川区

事業内容 システムインテグレーター。大手航空会社、鉄道会社のホストシステムと連動したチケット予約システム、発券・生産システム、旅行関連業務支援システムなどの開発。1984年大手航空会社とパソコンをホストコンピューターとした、初の商用パソコン通信システム・ホストシステムを開発して以来、独自のノウハウに基づく開発技術で航空・運輸・旅行業界に特化した各種ソリューションを提供。

URL <http://www.itc-japan.com/>

「イントラからクラウドへ。セキュアに情報共有環境を一元化。」

1980年代、わが国初の大手航空会社パソコン商用通信サービスのホストシステムを開発。独自のノウハウと技術力で、航空、鉄道、旅行会社に特化したソリューションを提供しているアイティシージャパン株式会社様では、セキュリティ上の課題からイントラネットに限定していた情報共有のシステムをdesknet'sクラウドにリプレースしました。厳しいセキュリティの要件に注意を向けながら、スケジュール管理の利便性などを向上させたdesknet's NEOの活用状況についてお話をうかがいました。

この事例の
ポイント

- 1 スケジュールの二重管理が課題に。グループウェアのリプレースを検討
- 2 デモンストレーションでdesknet's NEOの使いやすさを実感
- 3 desknet's DBも同時採用。インシデント管理への活用に期待
- 4 セキュリティを厳しく見守り、desknet's NEOの活用を拡げたい

ご利用中のお客様の声

スケジュールの二重管理が課題に。グループウェアのリプレイスを検討

— グループウェア導入のきっかけについてうかがいます。

2006年ごろ、スケジュール共有を主目的に desknet's NEO の競合製品として知られるグループウェアをオンプレミスで導入しましたが、セキュリティの観点からイントラネットによる限定利用に徹してきました。とはいえ、顧客との打合せなどで外出の多い経営陣やマネージャーは、社内のグループウェアとは別に、社外では他のスケジューラーで管理するなど、二重の管理をしなくてはいただけませんでした。当然、外出中の幹部や社員の予定はリアルタイムで反映されませんので使いづらく、非効率でした。バージョンアップも行われないうままでしたし、そろそろ見直すべきという判断からリプレイスの検討を始めました。

デモンストレーションで

desknet's NEOの使いやすさを実感

— desknet's NEO 採用の決め手は？

導入に際しては、既導入製品の最新版と desknet's NEO、他のクラウド型グループウェアを比較検討しました。まず、製品決定に先駆けて各社にデモを依頼しました。既導入の製品に関してはデモを実施していただかず、desknet's NEO と



経営管理部
赤羽宣之 様



経営管理部
マネージャー
今井洋史 様



経営管理部
谷山友子 様

もう一製品のみやっていたいただきました。当初は各製品の機能に大きな差を感じることはありませんでしたが、desknet's NEO に関してはネオジャパンの担当者への対応や機能的な解説などを実際に拝見して、各機能の連携性やSNS的活用が期待できる [ネオツイ] の搭載などが評価できました。操作面でも、導入後の特別な操作教育などは必要ないと感じましたし、つねにバージョンアップを重ねて進化していることも確認できましたので、desknet's NEO を採用しました。

— desknet's クラウドをお選びいただいた理由についてお聞かせください。

背景には、やはりセキュリティの課題がありました。VPNなどで外部利用するのはリスクが大きいため、ひとつの独立したシステムとしてクラウド製品を利用した方がよいと判断しました。クラウドだから安心という考え方はしていませんし、ユーザーである社員のリテラシーも重要です。使い続ける以上、セキュリティの課題がないかどうかは、利用しながらつねに注視し続けるという姿勢です。

desknet's DB も同時採用。

インシデント管理への活用を期待

— desknet's クラウドと同時に

desknet's DB もご採用頂きました。

今までは、特定の社員に支給しているPC、携帯電話、携帯端末などを表計算ソフトで個別にライセンス管理していました。それを desknet's DB でデータベース化して一元管理することで、通信機器や備品などの運用やコスト管理に活用する予定です。まだ利用を始めたばかりなのですが、desknet's DB 導入の背景には、将来的にインシデント管理への活用も視野に入れていました。

セキュリティを厳しく見守り、desknet's NEO の活用を拡げたい

— desknet's NEO 導入後の効果はいかがですか？

イントラからクラウドへ。これこそが desknet's NEO 導入によってもたらされた、最も大きな変化でした。リプレイスの主目的でもあったスケジュールの一元管理によって、外出している社員の予定入力や効率化が進んだばかりではなく、ユーザーの予定がリアルタイムに反映され共有・確認できるようになったことで、すべてのユーザーが積極的にスケジュールへ入力し、注意深く管理・チェックするようになりました。

ご利用中の機能と使い方

ネオツイ

目立つ位置に表示され、ここから情報を発信すれば、みんなに見てもらえるので利用度は高い。desknet's NEOの活用促進にも役立っている。[つぶやき]は、社員がいち早く入手したIT関連の最新情報、セキュリティやリスク情報などをいち早く伝えて、即時的な啓発情報や技術情報の共有に使われている。今後は、それらをナレッジとしていかに共有管理し、蓄積していくか検討中である。

インフォメーション

業務連絡、社内通信、管理部門から全社への通達などに活用。健康診断の日程、新入社員入社後の電話番号表の更新告知など、見落とすと困る通達事項が多く掲載されるので、ユーザーは必ず確認するようになった。

設備予約

会議室、社用車を管理。備品管理などにも今後活用する予定。

15 スケジュール

社内外での二重管理の問題がクリアされ、集約・一元管理されたことによって、打合せの予約管理も効率化された。入力案件に応じて色分けルールを決めている。

ワークフロー

物品調達、社内機密文書の持出し申請、セキュリティ関連の申請書に活用。今後も利用領域を広げ各種申請を随時追加していく。



▲ アイティシージャパン様ご利用中の「スケジュール」

回覧・レポート

発信者が閲覧状況を確認できるので、案件に応じてメールと使い分け利用している。経営管理部での活用が多い。

文書管理

ファイルサーバーにあった書類を整理して移管中。ワークフローの承認後のファイル管理にも活用。

その他

[インフォメーション][伝言・所在]を活用



▲ アイティシージャパン様ご利用中の「回覧・レポート」

